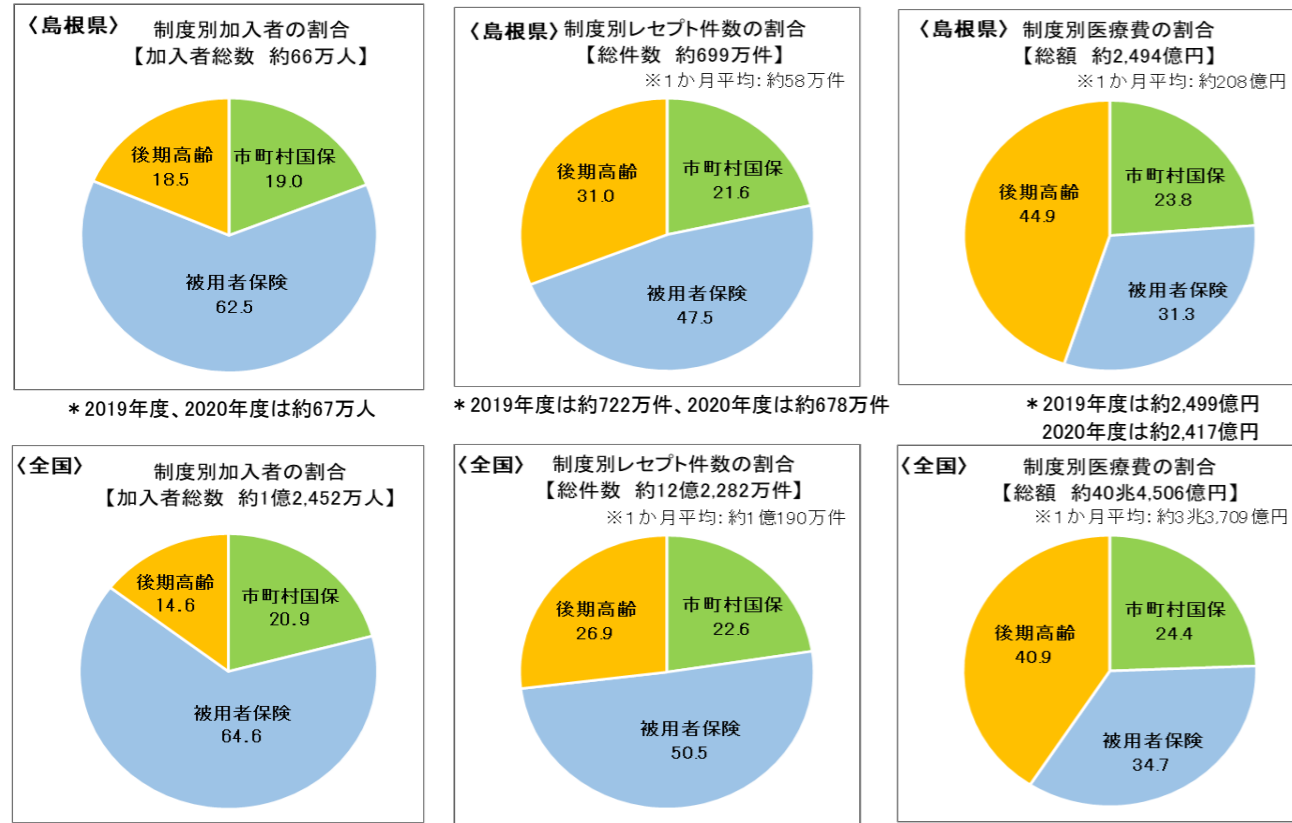


1. 加入者数、レセプト件数、医療費 (島根県と全国)



- ・島根県のNDBデータにおける加入者数は約66万人。前年度比で約1万人の減少。制度別では被用者保険が約6割、市町村国保と後期高齢者医療がそれぞれ2割という状況である。
- ・レセプト件数は、約699万件(1か月平均: 約58万件)で前年度比で約20万件、1か月平均で2万件の増加。制度別では被用者保険が約5割、後期高齢者医療が約3割、市町村国保が約2割という状況である。
- ・医療費の合計は約2,494億円(1か月平均: 約208億円)で、コロナ感染拡大の影響による受診控えで減少していた前年度と比べ約77億円増加しており、コロナ感染拡大前の状況にもどりつつある。

3. 疾病別1人当たり費用額の状況(中分類 上位11疾病) (島根県と全国)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位
全国 (制度合計) 男女合計	高血圧性疾患	その他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	糖尿病	その他の心疾患	腎不全	歯肉炎及び歯周疾患	脳梗塞	分類できない疾病	その他の消化器系の疾患	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
全国 (制度合計) 男性	高血圧性疾患	その他の悪性新生物<腫瘍>	歯肉炎及び歯周疾患	糖尿病	腎不全	その他の心疾患	その他の消化器系の疾患	脳梗塞	虚血性心疾患	その他の神経系の疾患	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
全国 (制度合計) 女性	高血圧性疾患	歯肉炎及び歯周疾患	骨折	その他の心疾患	糖尿病	その他の悪性新生物<腫瘍>	関節症	腎不全	その他の消化器系の疾患	脳梗塞	脂質異常症
島根県 (制度合計) 男女合計	高血圧性疾患	その他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	骨折	その他の心疾患	歯肉炎及び歯周疾患	腎不全	その他の消化器系の疾患	分類できない疾病	脳梗塞	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
島根県 (制度合計) 男性	高血圧性疾患	その他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	腎不全	その他の心疾患	歯肉炎及び歯周疾患	その他の消化器系の疾患	脳梗塞	分類できない疾病	その他の神経系の疾患	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
島根県 (制度合計) 女性	高血圧性疾患	骨折	歯肉炎及び歯周疾患	その他の心疾患	糖尿病	その他の悪性新生物<腫瘍>	分類できない疾病	脂質異常症	その他の消化器系の疾患	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	関節症
島根県 市町村国保 (男女合計)	その他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	高血圧性疾患	糖尿病	腎不全	歯肉炎及び歯周疾患	分類できない疾病	その他の神経系の疾患	その他の心疾患	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	その他の消化器系の疾患
島根県 被用者保険 (男女合計)	歯肉炎及び歯周疾患	高血圧性疾患	その他の消化器系の疾患	その他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	その他の神経系の疾患	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	腎不全	脂質異常症	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	分類できない疾病
島根県 後期高齢 (男女合計)	高血圧性疾患	骨折	その他の心疾患	その他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	糖尿病	腎不全	分類できない疾病	アルツハイマー病	その他の消化器系の疾患	その他の呼吸器系の疾患

※島根県の集計では「分類できない疾病」が上位に入っているため、参考として11位までを記載した。

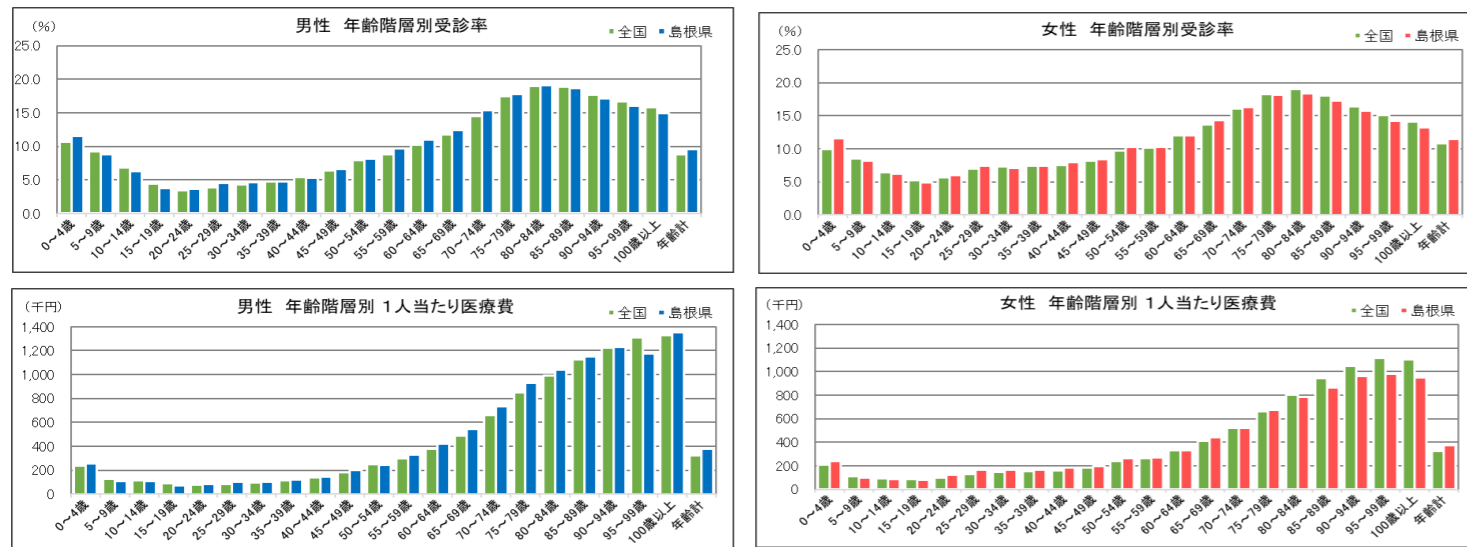
【データセットにおける疾病分類コードの割り当て】

※レセプトに記載された傷病のうち、主傷病のフラグが付与されたものを主傷病として採用。

主傷病のフラグが複数付与されている場合には、その中で一番上に記載されたものを主傷病として採用。主傷病フラグが1つも付与されていない場合には、「分類できない疾病」として集計されている。

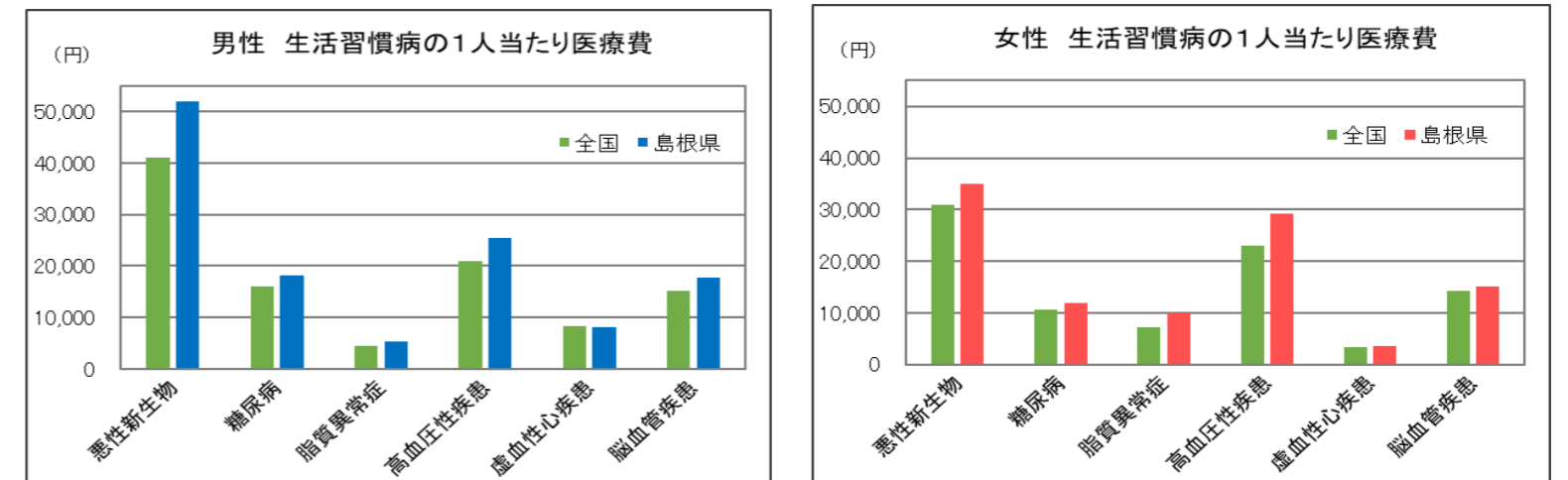
- ・制度合計では、男性、女性とも「高血圧性疾患」が1位となっている。全国と比較して上位に入っているのは、男性では「糖尿病」、「腎不全」、「その他の心疾患」、女性では「骨折」である。
- ・島根県は制度別にみると、国保は「その他の悪性新生物」、被用者保険は「歯肉炎及び歯周疾患」、後期高齢者は「高血圧性疾患」が1位となっている。
- ・また、上位11位までの疾患は、多少の順位の変動があるものの、ほぼ毎年上位に入っている。

2. 医療費諸率(保険者種別計) (島根県と全国)



- ・受診率は、全体では島根県は全国よりも高い。男女別にみると島根県、全国ともに15～79歳で男性より女性が高い。年齢階層別にみると 男性では0～4歳、25～29歳、55～74歳、女性では0～4歳、65～69歳で全国と比べて高い。
- ・1人当たり医療費は、全体では島根県は全国よりも高い。全国は20～49歳、島根県は15～44歳、50～54歳で男性より女性が高く、その他の年代では男性が高い。年齢階層別にみると、男性は20歳以上のほとんどの年代で全国より高い。

4. 生活習慣病1人当たりの医療費の状況 (島根県と全国)



※次の分類コードを生活習慣病と定義し、集計。

悪性新生物(0201～0210)、糖尿病(0402)、脂質異常症(0403)、高血圧性疾患(0901)、虚血性心疾患(0902)、脳血管疾患(0904～0908)

- ・島根県と全国を比較すると、男性、女性ともすべての疾患で全国より高くなっている。島根県と全国では年齢構成が異なるためその影響もあると思われるが、『2. 医療費諸率』より、年齢別にみても島根県の1人当たり医療費はほぼすべての年齢層で高い傾向が見られる。
- ・特に、男性の悪性新生物、女性の高血圧性疾患が全国との差が大きい。
- ・男女別にみると、悪性新生物と糖尿病は男性の方が高く、高血圧性疾患と脂質異常症は女性の方が高い。